

ResourceLook 集中制御端末導入・設定ガイド_Windows 版

Copyright (c) 2019, Big Bang System Corporation. All rights reserved.

本書に記載された事項で発生したいかなる事態もその責務を負いません。

また、本書は作成日時点での情報をもとに記述しています。

(株)ビービーシステムは予告なく本書の内容を変更する事があります。

その他、本書に記載されているサービス名、製品名または会社名は、各社の商標
または登録商標です。

本書では TM マーク、R マークは明記していません。

目次

はじめに.....	1
1 システム条件	2
1.1 ソフトウェア条件	2
1.2 ハードウェア条件	2
1.3 ネットワーク条件	2
1.4 使用可能な認証情報	2
1.5 アカウント	2
2 導入.....	3
2.1 インストール.....	3
2.2 アンインストール	3
3 設定.....	5
3.1 端末の登録.....	5
3.2 端末の編集.....	8
3.3 割り当てられたアクセス(キオスクモード)	9
3.3.1 端末の登録.....	9
3.3.2 アクセスの割り当て.....	9
3.3.3 サインインユーザーの切替え.....	12
3.3.4 キオスクモード設定の削除	12

はじめに

本ガイドは、ResourceLook から管理する集中制御端末アプリを導入、および設定する方法について説明します。

端末に Exchange から取得した予定情報を表示するには、事前に ResourceLook サイトにアクセスし、集中制御端末用 ID 情報を登録します。

集中制御端末アプリの利用方法は、別紙「ResourceLook 集中制御端末利用者ガイド」をご参照ください。

ResourceLook サイト上での登録方法は、別紙「ResourceLook 管理者・受付用ガイド」をご参照ください。

1 システム条件

本章では、端末のシステム条件について説明します。

1.1 ソフトウェア条件

利用する端末は、以下のソフトウェア条件を満たしている必要があります。

※最新の情報は、弊社サポートページ(<http://www.bbsystem.co.jp/product/resourcelook/>)をご参照ください。

- Windows 10 以上

割り当てられたアクセス(キオスクモード)を利用する場合は、以下のソフトウェア条件を満たしている必要があります。

- Windows 10 以上

1.2 ハードウェア条件

前述のソフトウェアが正しく稼働できるハードウェアを使用している必要があります。

- 推奨解像度 1,280×720

1.3 ネットワーク条件

端末は、インターネットに接続可能である必要があります。

接続先は弊社が公開している ResourceLook サーバーです。

- <https://www.resourcelook.net/>

1.4 使用可能な認証情報

端末に Exchange 上のリソースの予定情報を表示するには、以下が必要です。

- ResourceLook サーバーから Exchange サーバーに接続するサービスアカウント
- 集中制御端末用 ID

※サービスアカウントの追加は、弊社 Online サービス事務局までお問い合わせください。

1.5 アカウント

集中制御端末アプリを実行および利用するアカウントに、特別な権限は必要ありません。

割り当てられたアクセス(キオスクモード)を使用する場合、専用のアカウントを作成します。

キオスクモードの詳細は、「3.3 割り当てられたアクセス(キオスクモード)」をご参照ください。

2 導入

本章では、端末に ResourceLook 集中制御端末アプリのインストールおよびアンインストールを行う手順について説明します。

2.1 インストール

ResourceLook 集中制御端末アプリは、Windows ストアに公開されており、Windows ストアからダウンロードします。

最新の更新プログラムを適用した後、Windows ストアから”ResourceLook: Multi Client”と検索し、アプリをインストールします。

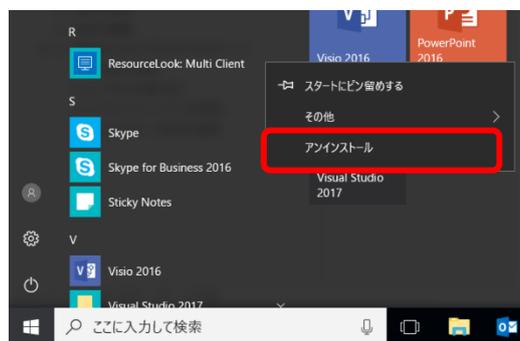
インストール完了後に、スタートメニューのアプリ一覧に「ResourceLook: Multi Client」が表示されます。

※ 割り当てられたアクセス(キオスクモード)を使用する場合、キオスクモードの実行ユーザーとなるアカウントで、アプリをインストールする必要があります。詳細は「3.3 割り当てられたアクセス(キオスクモード)」をご参照ください。

2.2 アンインストール

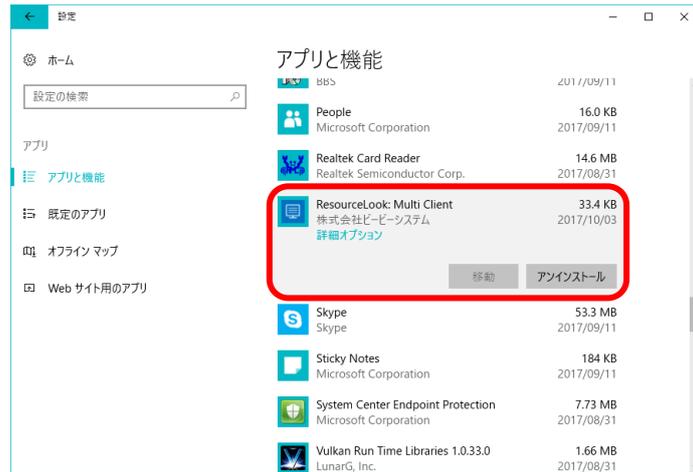
ResourceLook 集中制御端末アプリのアンインストール手順について説明します。

- 1 スタートメニューのアプリ一覧を開きます。
- 2 「ResourceLook: Multi Client」を右クリックし、「アンインストール」を選択します。([画面 1])



[画面 1]

※ アンインストールは下記の画面からも実行可能です。([画面 2])
スタートメニュー - [設定] - [アプリ] - [アプリと機能]



[画面 2]

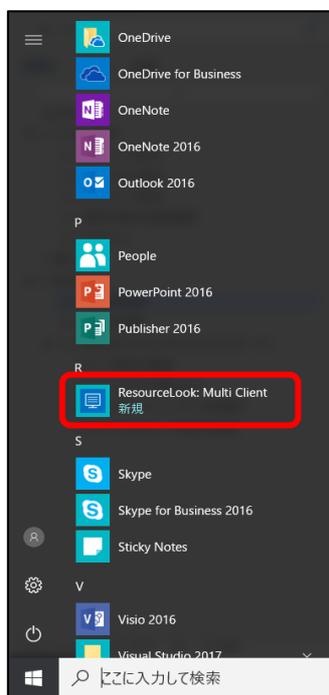
3 設定

本章では、ResourceLook 集中制御端末アプリを Windows 10 環境で使用する手順について説明します。

3.1 端末の登録

集中制御端末アプリの初回起動時には初期設定を行います。

- 1 スタートメニューのアプリ一覧を開きます。
- 2 「ResourceLook: Multi Client」を選択します。([画面 3])



[画面 3]

- 3 端末の設定画面が開きます。([画面 4])

[画面 4]

4 設定項目について、以下の表に説明します。

[表 1 集中制御端末設定項目一覧]

項目	内容
接続設定	
集中制御端末用 ID	端末に紐づける集中制御端末用 ID を設定します。 設定する集中制御端末用 ID は、事前に ResourceLook の管理サイト上で登録します。集中制御端末用 ID の登録方法は、別紙「ResourceLook 管理者・受付用ガイド」をご参照ください。
パスワード	ResourceLook の管理サイトで登録した集中制御端末用 ID のパスワードを設定します。登録方法は、別紙「ResourceLook 管理者・受付用ガイド」をご参照ください。
接続先サービス URL	下記 URL を設定します。 https://www.resourcelook.net/m/
表示形式	リソース一覧の表示形式（一覧形式/タイル形式）を設定します。
タイムアウト□分	サーバーとの通信のタイムアウト時間を設定します。初期値は 3 分です。
動作設定	
英語を併記する	英語併記を設定します。 有効にすると、各画面の項目名に英語を併記します。初期値は無効です。

項目	内容
一覧画面自動切り替え	<p>一覧画面自動切り替えを設定します。</p> <p>有効にすると、一定時間ごとに自動で一覧画面のページが切り替わります。初期値は無効です。</p> <p>※設定を有効にした場合は、予定をクリックしても、予定詳細のポップアップは表示されません。</p> <p>※エラー発生時、当該会議室はエラー表示(赤背景)されますが、「詳細」「更新」ボタンは表示されません。</p> <p>※「設定」アイコン以外のボタン操作ができません。</p> <p>※テストモード利用中は、本機能を利用できません。</p>
自動切り替え時間	一覧画面自動切り替えの切り替え時間を設定します。
テストモードを使用する	<p>テストモードを設定します。</p> <p>有効にすると、「集中制御端末用 ID」で設定したリソースではなく、テスト用のリソースを表示し、「今すぐ使用」や「延長」などの操作テストが行えます。Exchange サーバーの予定は変更されません。初期値は無効です。</p>
ログを出力する	<p>ログ出力を設定します。</p> <p>有効にすると、「ログ出力先」で指定した場所に操作ログを出力します。初期値は無効です。</p>
ログ出力先	ログの出力場所（端末内/端末内およびサーバー）を設定します。

※集中制御端末アプリは OS のプロキシ設定を参照します。「接続先サービス URL」への接続にプロキシを使用する場合は、OS のプロキシ設定を利用してください。

5 「OK」を選択します。

※「ログ出力先」で「端末内およびサーバー」を選択した場合、「OK」の選択後に確認のポップアップが表示されます。（[画面 5]）



[画面 5]

3.2 端末の編集

端末に登録した設定の編集手順について説明します。

- 1 歯車アイコンを選択します。([画面 6])



[画面 6]

- 2 ユーザーID とパスワードの入力を求められます。ResourceLook の管理サイトで登録した集中制御端末用 ID とパスワードを入力し、「サインイン」を選択します。([画面 7])



[画面 7]

3.3 割り当てられたアクセス(キオスクモード)

本章は、集中制御端末を割り当てられたアクセス(以降キオスクモードと記載)で使用する手順について説明します。

集中制御端末アプリは、キオスクモードに対応しています。アクセスを割り当てることで、キオスクモードで実行した際に、ユーザーが集中制御端末アプリ以外のアプリにアクセスすることを制限できます。

3.3.1 端末の登録

キオスクモードの設定前に、端末に集中制御端末用 ID の登録設定が完了している必要があります。

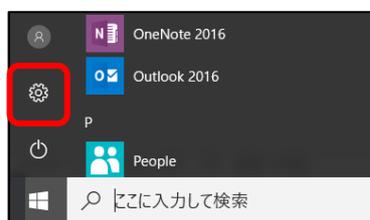
- 1 管理者アカウントで端末にサインインし、キオスクモードの実行ユーザーとなるローカルアカウントを作成します。
- 2 作成したアカウントで端末にサインインし、ResourceLook 集中制御端末アプリのインストールを行います。手順については、「2 導入」をご参照ください。
- 3 インストール後、集中制御端末用 ID の紐づけ設定を行います。手順については、「3.1 端末の登録」をご参照ください。
- 4 設定後はサインアウトし、管理者アカウントで端末にサインインします。

3.3.2 アクセスの割り当て

キオスクモード用のアカウントに対して、ResourceLook 集中制御端末アプリのアクセスを割り当てます。

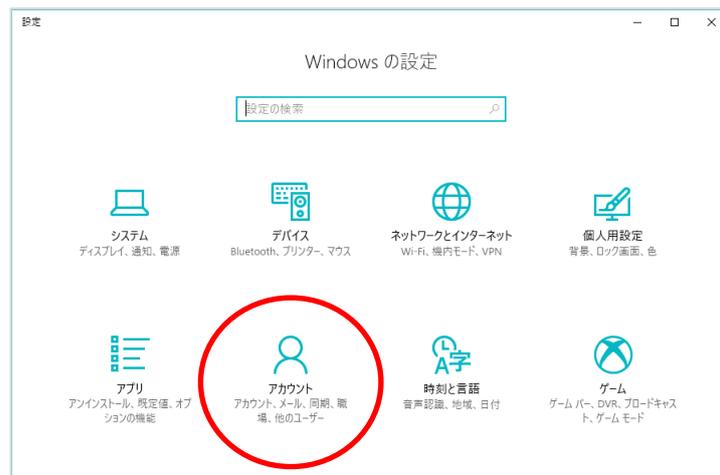
※端末へのサインインは、管理者アカウントで行います。

- 1 スタートメニューで「設定」を選択します。([画面 8])



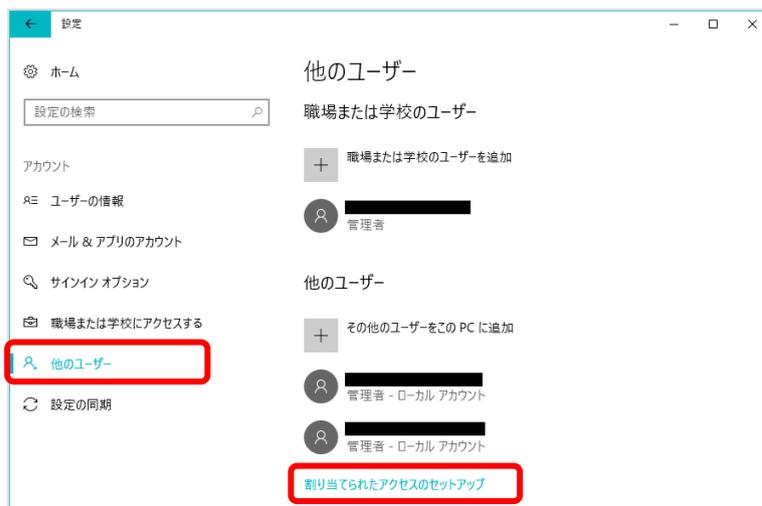
[画面 8]

- 2 「アカウント」を選択します。([画面 9])



[画面 9]

- 3 「他のユーザー」タブを開き、右ペインで「割り当てられたアクセスのセットアップ」を選択します。([画面 10])



[画面 10]

- 4 「アカウントを選ぶ」を選択し、キオスクモードを実行するアカウントを指定します。
([画面 11]・[画面 12])



[画面 11]



[画面 12]

- 5 「アプリを選ぶ」を選択し、「ResourceLook: Multi Client」を選択します。([画面 13]・[画面 14])



[画面 13]



[画面 14]

- 6 端末を再起動し、キオスクモードを実行するアカウントでサインインします。

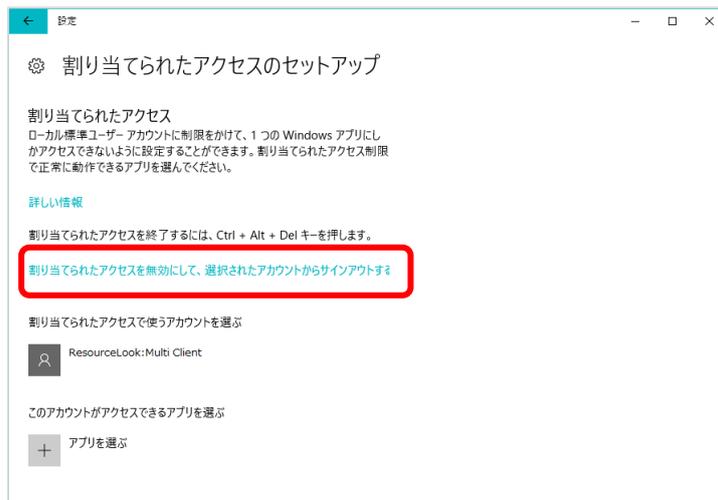
3.3.3 サインインユーザーの切替え

キーボードの Ctrl + Alt + Del キーを押すことで、アカウントの切替え画面に遷移します。再度サインインする場合、別のアカウントでサインインし直します。

3.3.4 キオスクモード設定の削除

アカウントに割り当てられたアクセス（キオスクモード）の設定を無効にします。

- 1 端末に管理者アカウントでサインインします。
- 2 スタートメニューで「設定」を選択します。
- 3 「アカウント」を選択します。
- 4 「他のユーザー」タブを開き、右ペインで「割り当てられたアクセスのセットアップ」を選択します。
- 5 「割り当てられたアクセスを無効にして、選択されたアカウントからサインアウトする」を選択します。 ([画面 15])



[画面 15]

以上